

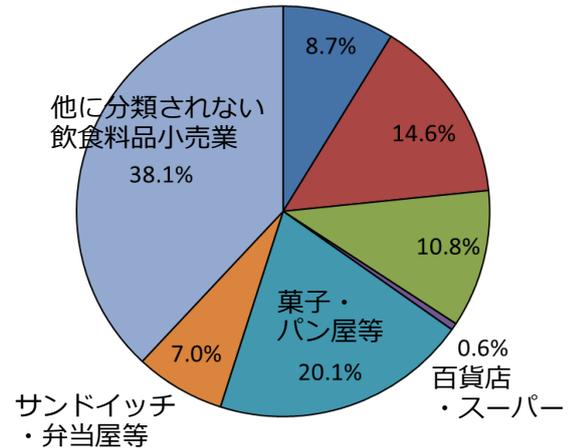
東京都の小売店舗の概況（全国との比較）

平成 26 年度経済センサス基礎調査より作成

全国食品小売店の事業所数（産業小分類別）

産業分類小分類	事業所数	割合
各種食料品小売業	26,985	8.7%
野菜・果実・食肉・鮮魚小売業	45,158	14.6%
酒小売業	33,478	10.8%
百貨店、総合スーパー	1,706	0.6%
菓子・パン小売業	62,118	20.1%
料理品小売業	21,715	7.0%
他に分類されない飲食料品小売業	117,415	38.1%
合計	308,575	100%

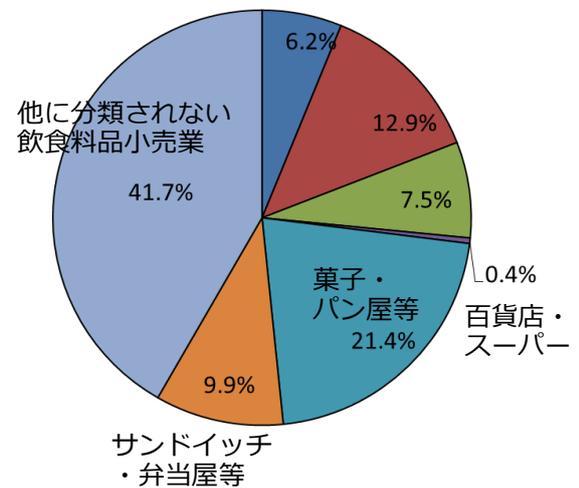
※他に分類されない飲食料品小売業

○コンビニエンスストア、○牛乳小売、○飲料小売、
○茶類小売、○米穀類小売 etc

都内食品小売店の事業所数（産業小分類別）

産業分類小分類	事業所数	割合
各種食料品小売業	1,911	6.2%
野菜・果実・食肉・鮮魚小売業	4,006	12.9%
酒小売業	2,313	7.5%
百貨店、総合スーパー	133	0.4%
菓子・パン小売業	6,631	21.4%
料理品小売業	3,077	9.9%
他に分類されない飲食料品小売業	12,923	41.7%
合計	30,994	100%

※他に分類されない飲食料品小売業

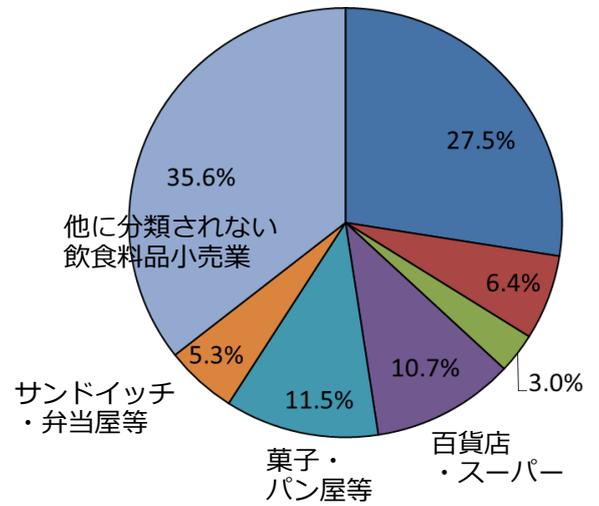
○コンビニエンスストア、○牛乳小売、○飲料小売、
○茶類小売、○米穀類小売 etc

都内の小売店舗（事業所数）は、全国の約 1 割に相当する 3 万 1 千事業所が存在。

その内訳は、百貨店・スーパー、パン等、コンビニエンスストア等、サンドイッチ・お弁当の店舗で全体の 7 割以上を占め、全国より 7 ポイントほど割合が高い。総務省統計（平成 27 年）では、1 人世帯割合は、全国 34.5% に対し、都は、42.3% と 8 ポイントほど割合が高く、中食の割合が高いことが伺える事業所数となっている。

全国食品小売店の従業員数（産業小分類別）

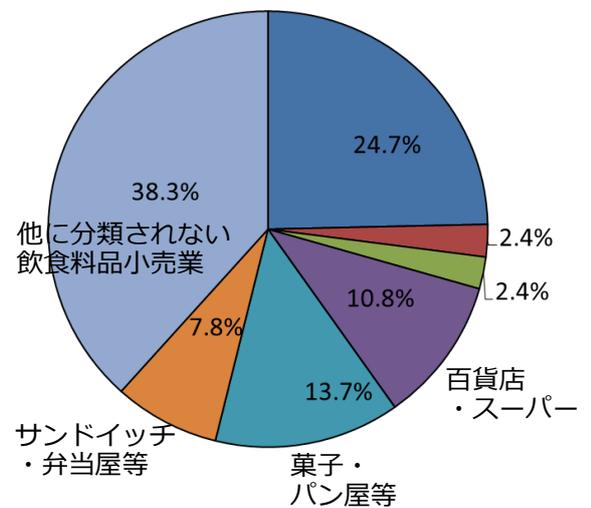
産業分類小分類	事業員数	割合
各種食料品小売業	940,037	27.5%
野菜・果実・食肉・鮮魚小売業	218,961	6.4%
酒小売業	103,249	3.0%
百貨店、総合スーパー	364,334	10.7%
菓子・パン小売業	393,101	11.5%
料理品小売業	182,885	5.3%
他に分類されない飲食料品小売業	1,216,133	35.6%
合計	3,418,700	100%



※他に分類されない飲食料品小売業
 ○コンビニエンスストア、○牛乳小売、○飲料小売、
 ○茶類小売、○米穀類小売 etc

都内食品小売店の従業員数（産業小分類別）

産業分類小分類	事業員数	割合
各種食料品小売業	97,841	24.7%
野菜・果実・食肉・鮮魚小売業	9,487	2.4%
酒小売業	9,399	2.4%
百貨店、総合スーパー	42,848	10.8%
菓子・パン小売業	54,190	13.7%
料理品小売業	30,931	7.8%
他に分類されない飲食料品小売業	152,209	38.3%
合計	396,905	100%



※他に分類されない飲食料品小売業
 ○コンビニエンスストア、○牛乳小売、○飲料小売、
 ○茶類小売、○米穀類小売 etc

都内の小売店舗（従業員数）は、事業所数同様、百貨店・スーパー、パン等、コンビニエンスストア等、サンドイッチ・お弁当の店舗で全体の約7割を占め、国より7ポイントほど割合が高い。